

第1期 滋賀県国民健康保険運営方針の評価

(対象期間:平成30年4月1日から令和3年3月31日まで)

国民健康保険運営方針の位置付け

- 都道府県と市町村が一体となって、財政運営、資格管理、保険給付、保険料の賦課徴収、保健事業その他の保険者の事務を共通の認識の下で実施するとともに、各市町村が国保事業の広域化や効率化を推進できるよう、都道府県が、国保法第82条の2に基づき、県内の統一的な国民健康保険の運営方針を定める。
- 市町村は、国保法第82条の2に基づき、都道府県国保運営方針を踏まえた国民健康保険の事務の実施に努める。

運営方針の記載事項

〈必須事項〉

1. 国保の医療費、財政の見通し
2. 市町村の保険料の標準的な算定方法及びその水準の平準化に関する事項
3. 保険料の徴収の適正な実施に関する事項
4. 保険給付の適正な実施に関する事項

〈任意項目〉

5. 医療費適正化に関する事項
6. 市町村が担う事務の効率化、広域化の推進に関する事項
7. 保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携に関する事項
8. 施策の実施のために必要な関係市町村相互間の連絡調整等

※上記2の「平準化」は令和6年度から

■ 本県の国保運営方針の概要

第2期運営方針（令和3年度～令和5年度）

滋賀県が目指す国保

基本理念：持続可能な国民健康保険の運営

あるべき姿：県民が健康な暮らしを送れる、いざという時に安心して医療を受けられる国保制度

基本理念を実現するための3つの方向性

1 保険料負担と給付の公平化

- ・保険料水準の統一に向けた検討を進める
- ・事務の効率化や標準化による給付サービスの平準化

2 保健事業の推進と医療費の適正化

- ・データヘルスの推進（健康・医療データを活用した事業実施）
- ・後発医薬品、重複受診者等への指導など

3 国保財政の健全化

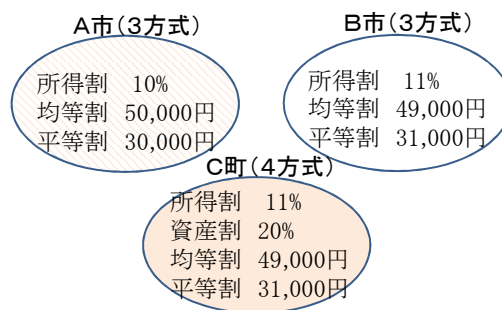
- ・保険者努力支援制度に係る取組を進め、財政基盤を強化
- ・収納対策の向上

■ 評価 「1. 保険料負担と給付の公平化」

概 要

被保険者の負担の公平化を図るため、「県内どこに住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料」
となる保険料水準の統一を目指す

【現行】市町が個別に保険料を設定



【統一後】県が統一の標準保険料を設定



運営方針のポイント

- 令和6年度以降の出来るだけ早い時期の保険料水準の統一について検討し進めていく
- 医療費は県全体で支え合うこととし、市町毎の医療費水準は、納付金算定に反映させない
- 標準的な保険料賦課方式を3方式に統一。4方式を採用する町において計画的に3方式に変更する方向で進める
- 決算補填等目的の法定外一般会計繰入のうち、保険料の負担緩和を図るための繰入は、被保険者の保険料負担の急変を考慮し、令和5年度末までに段階的な解消を目指す

■ 評価 「1. 保険料負担と給付の公平化」

主な取組と成果

保険料水準を統一するための3つの対応

①市町の医療費水準を納付金算定に反映させない

下記のとおり

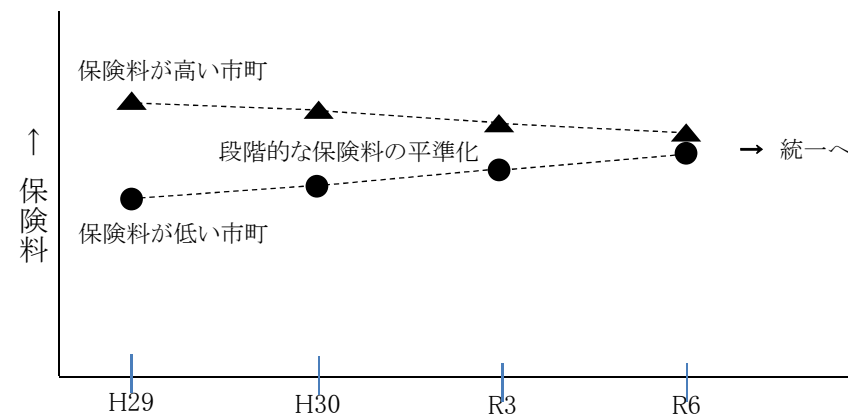
②市町の収納率を標準保険料に影響させない

市町の収納率の違いが標準保険料の違いにつながらないような算定方法に変更する

③市町ごとの収入支出を標準保険料に影響させない

市町ごとの収入支出の違いが標準保険料の違いにつながらないような算定方法に変更する

保険料水準を統一のイメージ

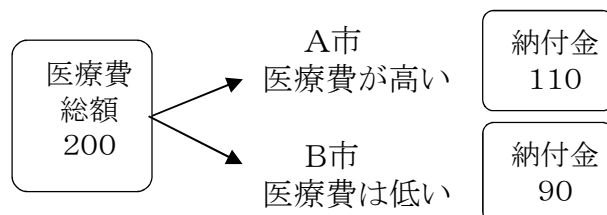


左の①～③の対応を段階的に実施

【取組1】市町の医療費水準を納付金算定に反映させない(平成30年度～)

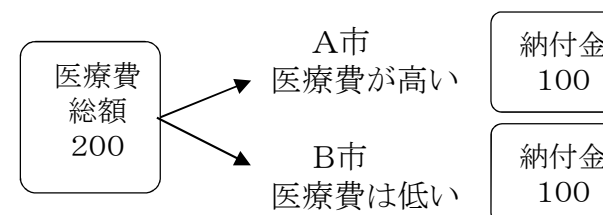
○一般的な納付金の按分方法

(被保険者数、被保険者世帯、所得、医療費水準で按分)



○本県の納付金の按分方法

(被保険者数、被保険者世帯、所得、医療費水準で按分)

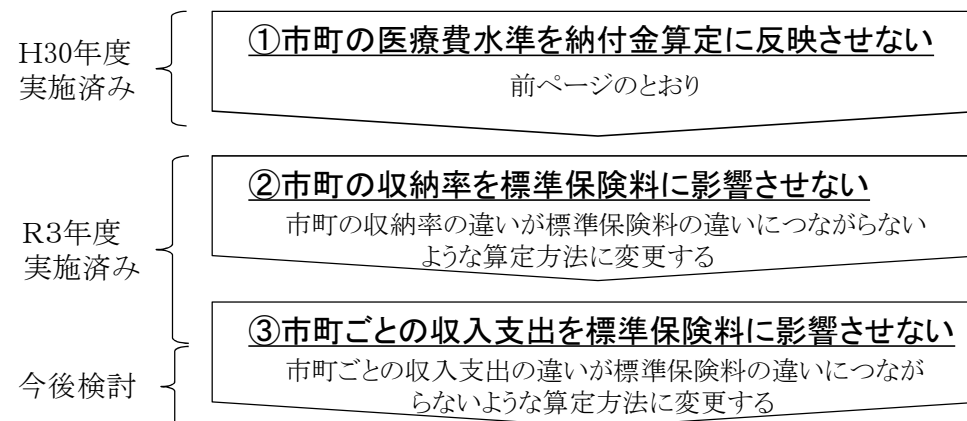


■ 評価 「1. 保険料負担と給付の公平化」

【取組2】保険料水準の統一に向けた検討

- 平成30年度後半～
保険料水準の統一に向けた市町との検討を開始
- 令和2年7月 首長会議
負担と給付の公平化を進めるため、右記の②および③のうち市町の合意を得たものについて、令和3年度から実施することを合意

保険料水準を統一するための3つの対応



【取組3】4方式を計画的に3方式に変更

各町の資産割率（医療＋後期＋介護）

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
|-----|-------|--------|-------|-------|
| 日野町 | 31.5 | 22.8 | 22.8 | 22.8 |
| 竜王町 | 34.0 | 34.0 | 28.0 | 17.0 |
| 豊郷町 | 35.0 | 26.04 | 20.13 | 14.81 |
| 甲良町 | 34.2 | 17.4 | 17.4 | 17.4 |
| 多賀町 | 22.0 | 3方式に移行 | | |

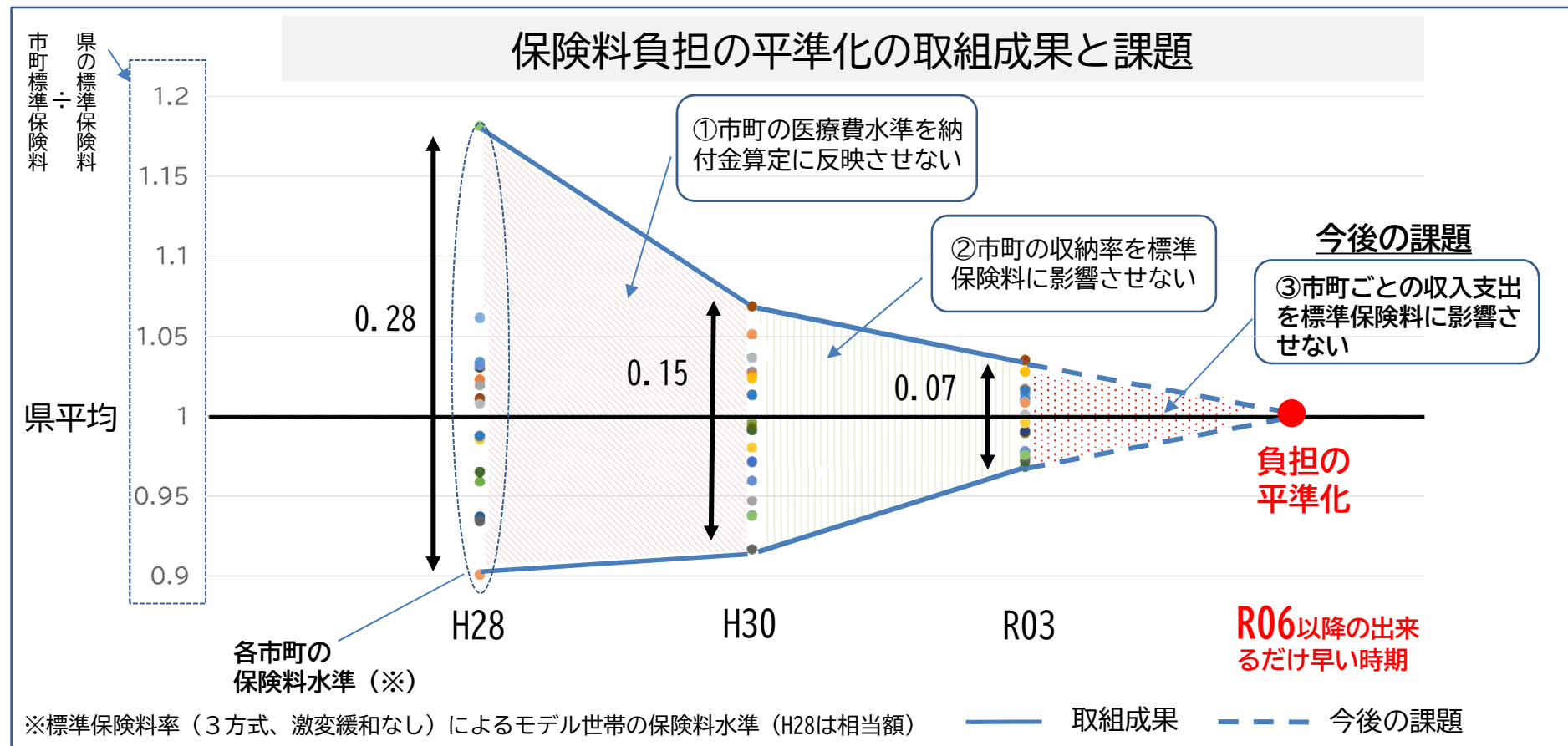
- ・1町は3方式に移行済み
- ・2町は計画的な移行に向けて資産割率を段階的に下げている

【取組4】保険料の負担緩和を図るための繰入は段階的に解消

保険料の負担緩和を図るための法定外繰入の状況

| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度以降 |
|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 全国 | 760市町村 3,039億円 | 677市町村 2,526億円 | 505市町村 1,751億円 | 354市町村 1,258億円 | (未公表) |
| 本県 | 6市町 7.3億円 | 2市町 1.1億円 | H29年度以降は該当なし | | |

■ 評価 「1. 保険料負担と給付の公平化」



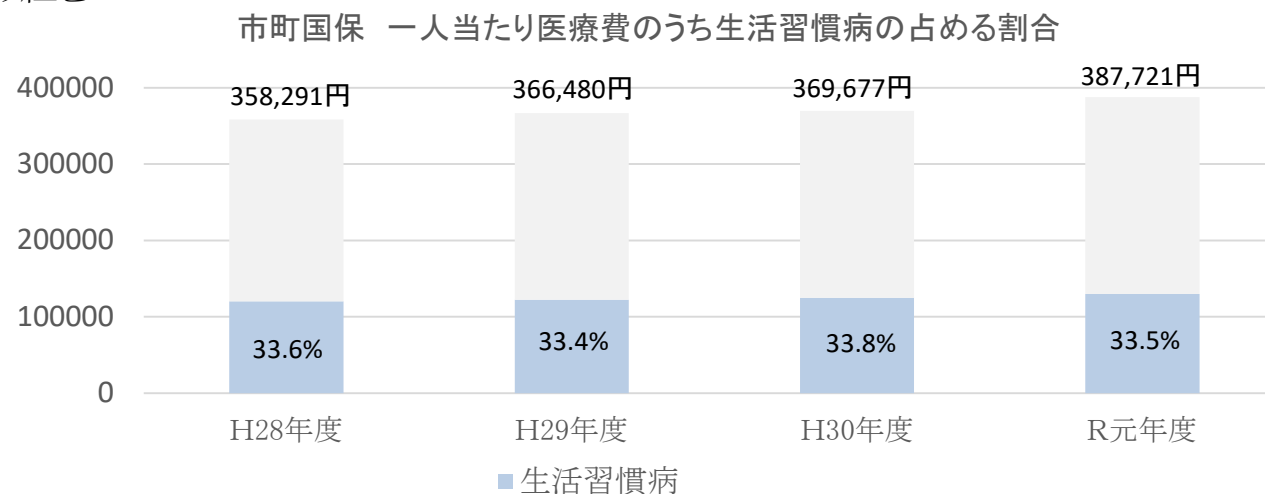
評価・課題

- 保険料水準の統一化に向けた段階的な対応を行うことにより、市町の保険料水準の差も縮まり、負担の平準化を進めることができた
- しかしながら、統一に向けた課題は残るため、市町等との丁寧な議論を続けていく必要がある

■ 評価 「2. 保健事業の推進と医療費の適正化」

概要

- 医療費が経済の伸びを上回って増加
- 保健事業の推進により、県内どこに住んでいても健康的な生活を送れる、そして結果的に医療費の適正化につながる好循環のシステムづくりに取り組む



運営方針のポイント

- 保健・医療・介護等のデータ分析に基づきデータヘルス計画を県、市町ともに推進
- 後発医薬品の使用促進についての理解が得られるよう、後発医薬品差額通知等を実施
- 県による保険給付の点検、事後調整として、市町が行った保険給付の事後点検として、県保有情報の活用を検討

■ 評価 「2. 保健事業の推進と医療費の適正化」

主な取組と成果

【取組1】データヘルス計画の推進

次の取組により市町のデータヘルス計画の進捗管理や評価などを支援

- ・ データヘルス計画支援資料集の作成・配布(毎年度)
- ・ 国保連合会が設置する支援・評価委員会による有識者からの助言・支援
- ・ データ分析等にかかる研修の開催

運営方針に記載する目標値の状況

| | 目標 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------------------------------------|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 特定健診受診率 | 60% | 38.2% | 38.0% | 38.8% | 40.7% | 41.8% |
| 特定保健指導実施率 | 60% | 30.8% | 32.4% | 34.7% | 38.2% | 36.1% |
| メタボリックシンドローム該当者および予備群の減少率（平成20年度比） | 25% | 3.8% | 2.1% | △0.4% | — | — |
| 受診勧奨判定値以上の者の医療機関受診率 | 19市町で実施 60%以上 | 17市町 24.4% | 18市町 67.4% | 18市町 36.9% | 19市町 43.7% | 19市町 64.1% |
| 受診勧奨判定値以上の者のうち、別に定めるハイリスク者の医療機関受診率 | 19市町で実施 80%以上 | 19市町 41.8% | 17市町 57.1% | 19市町 48.1% | 19市町 54.3% | 19市町 56.5% |

【取組2】糖尿病性腎症重症化予防の推進

- ・平成30年2月
県医師会、県糖尿病対策推進会議、県保険者協議会、県の4者にて連携協定を締結
- ・平成30年3月
糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定
- ・平成31年3月
糖尿病性腎症重症化予防プログラム保健指導ガイドを策定
- ・令和 2年3月
医療機関と連携した保健指導の円滑な実施のポイントを策定

糖尿病性腎症により新たに人工透析となった患者数

(年間:全保険者)

| 目標 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|------|
| 増加の抑制 (181人以下) | 183人 | 162人 | 168人 | 134人 |

<参考> 医療費の削減効果

$$(181名 - 134名) \times 480万円 = 2億2,560万円$$

■ 評価 「2. 保健事業の推進と医療費の適正化」

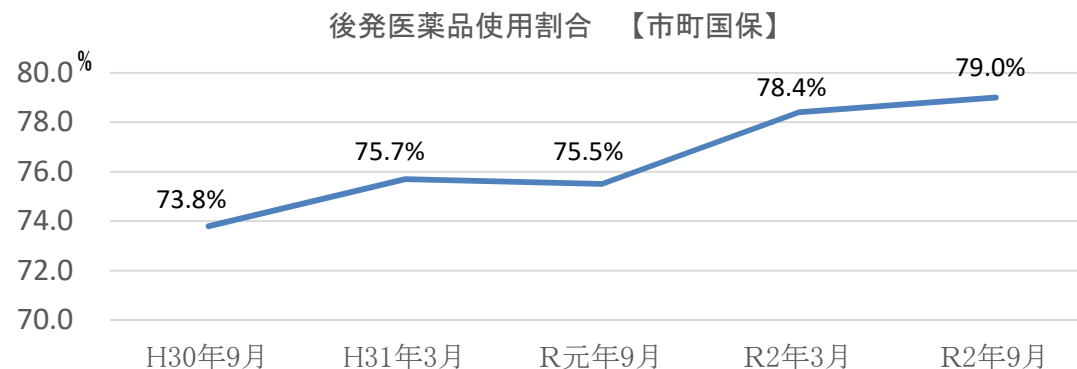
【取組3】重複頻回受診者等訪問指導事業（平成30年度～）

重複受診者、頻回受診者、重複服薬者に対する保健師による訪問指導事業を県、市町、国保連合会の共同で実施。

| 項目 | H30年度 | R元年度 |
|---------------------------|------------|----------|
| 訪問実施者数 | 77人 | 39人 |
| 訪問前後3か月間のレセプト比較による診療日数の減少 | 508日 | 371日 |
| 訪問前後3か月間のレセプト比較による医療費の減少 | 1,669,960円 | 801,190円 |

【取組4】後発医薬品の使用促進

全市町にて後発医薬品の差額通知を実施。（年2～4回）



評価・課題

- 糖尿病性腎症重症化予防については、県のプログラムを策定するとともに、手引書の作成や従事者研修の実施など、かかりつけ医との連携による適切な保健指導に向けた取組を進めることができた。
- 特定健診受診率および後発医薬品使用割合は年々増加しているものの、依然として目標値に至っておらず、目標達成に向けた今後の取組が課題となっている。

■ 評価 「3. 国保財政の健全化」

概 要

- 国保財政を安定的に運営していくためには、原則として必要な支出を保険料や国庫負担金によって賄うことにより国保特別会計の収支が均衡していることが必要。

| 歳 入 | 歳 出 |
|--------------|-----------|
| 前期高齢者交付金 | 医療給付費 |
| 定率国庫負担金(32%) | |
| 財政調整交付金(9%) | |
| 都道府県繰入金(9%) | |
| その他の収入 | 後期高齢者支援金 |
| 保険料 | 介護納付金 |
| | その他事務・事業費 |

運営方針のポイント

- 医療費適正化への努力などに応じて交付される保険者努力支援制度に係る取組を進め、財政基盤を強化
- 市町において赤字が生じた場合には市町毎の赤字削減・解消に向けた取組、目標年次等を市町と協議の上定める
- 収納率の向上を図るため、市町は毎年度、地域の実情に応じて保険者(市町)別の目標収納率を定める

■ 評価 「3. 国保財政の健全化」

主な取組と成果

【取組1】保険者努力支援制度への対応

- ・ 保険者努力支援制度の都道府県分については、保健事業や第三者求償事務など、加点に向けた取組を進めるとともに、市町村分にかかる市町への説明や助言に努めたところ。

| 都道府県分 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------|------------|------------|------------|------------|
| 交付額 | 496, 586千円 | 507, 083千円 | 724, 742千円 | 840, 911千円 |
| 全国順位 | 12位 | 16位 | 9位 | 2位 |

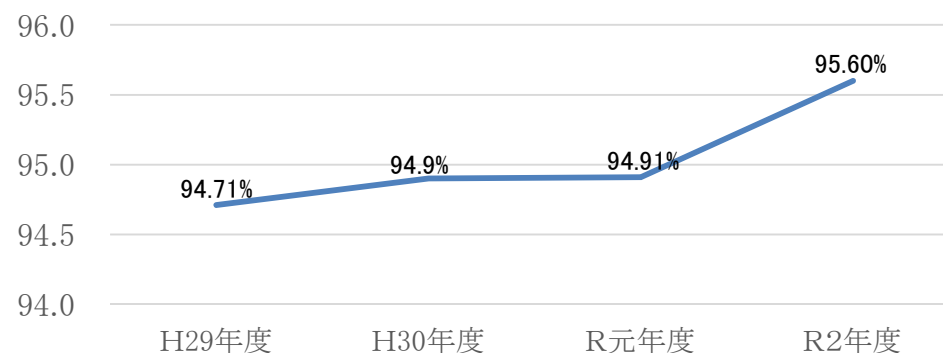
| 市町村分 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|------------|------------|------------|------------|
| 交付額 | 544, 127千円 | 527, 456千円 | 534, 984千円 | 572, 341千円 |
| 全国順位 | 10位 | 17位 | 22位 | 19位 |

■ 評価 「3. 国保財政の健全化」

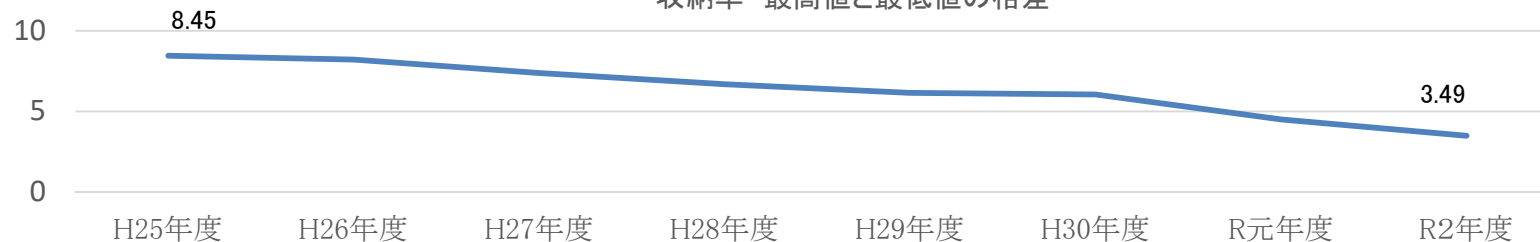
【取組2】収納対策の強化にかかる取組

- ・平成30年度～
県地方税務協議会主催の研修の対象者を国保料担当へも拡充
- ・令和30年度～
国保連合会が設置する徴収アドバイザーの個別相談会を新設
- ・令和元年度
規模別目標収納率に達しなかった市町は収納対策計画を策定
- ・令和3年度～
資格証明書・短期被保険者証の交付基準の標準化

本県の保険料収納率の推移



収納率 最高値と最低値の格差



評価・課題

- 国保制度改革に伴う国の年3,400億円の公費拡充、さらには保険者努力支援制度への対応に努めたことにより、平成30年度以降は市町に赤字は発生しておらず、健全な国保財政の運営を図ることができた
- 本県の保険料収納率は全国的にも高い水準であり、近年は毎年微増を続けている。しかしながら、保険料水準の統一に向けて、市町の収納率の格差を縮小していく取組の検討が必要